

1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましよう。
2 段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましよう。

（ ） 月 日 曜日

楽しかった屋久杉ランド

神山小学校 五年 荻野 春矢

八月二十四日、ぼくは、六年生のいとこの桂輔君とおじいちとんとおじさんと、屋久杉ランドに行きました。

ぼくたちは、五十分コースをえらびました。はじめのほうは、石のかいだんや木の板で整備された道が、歩きやすく、いところ三人で先に行きました。

たまに石と石のすきまからきれいな水が出てきているのを見つけました。二人でいっしょにさわってみると、すごく冷たかったです。

次に、大きな川に出合いました。はしっこで大きなしかが、水を飲んでいました。ぼくたちがみんな集まってくるとび、くりしにげてしまいましたが、その川をわたってからは木の根っこがとび出していたり、木の板がくさっていたりして、少しけわしい道になりました。

とちゅうで、うづつ園というつつじがい

3 詩はどの行も三はんめのマスから書き頭をそろえましよう。
4 書き終ったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましよう。

(不許複製)



1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。
2 段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

（ ）月 日 曜日

はいある川がありました。あたりを見回すと、ぼくの周りは、フっじでいっばいでいた。八月だ。たので花は、さいていませんでした。五月だ。たら、花でいっばいだった。たろうな。あと思いながら通っていきました。

どんどん進んで行くところ、セメシヤラの木がたくさんありました。ぼくが桂輔君に、「さわってみて。」

と言うと、桂輔君が、「フッめたい。」

と言いました。ぼくは、セメシヤラの木が、昔クラーラのかわりになっただけを知っ

ていたので、そのことを桂輔君におしえてあげました。そして二人で、セメシヤラのひんやりした幹木を、何度もさわりました。気持ちよかったです。

さいごにくぐり杉だ出会いました。くぐり杉の下で、おじさんが写真をとってくれました。

大好きな自然、ばいの屋久杉

No. 2

3 詩はどの行も三はんめのマスから書き頭をそろえましょう。
4 書き終ったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。

(不許複製)



- 1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。
- 2 段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

() 月 日 曜日

ランドに行けて楽しかったです。また行きた
りです。

- 3 詩はどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましょう。
- 4 書き終ったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。

(不許複製)

